

## 観戦記

先日の1月3日の定期戦では手の内を見せられないと、タッチフットで交流した両校でしたが、今日は伝統の済熊戦のキックオフとなりました。キックオフの段階から熊高は1名少ない人数でしたが、それでも両校選手の熱い戦いに手に汗を握る好ゲームとなりました。

熊高はスタートから思い切って展開しながら接点で優位に立とうとしますが、そうはさせまいと我らが済々矚フィフティーンは伝統のタックルで倒し、その後2人目、3人目の見事なジャッカルからのターンオーバーやPKを得て優位に立ちました。

(前半8分) 中盤から熊高の攻撃を伝統のタックルで凌ぐ済々矚フィフティーン。ディフェンスで耐えながら、ついにターンオーバーしたボールをつないで10番飯田君のトライ! 5点を先制しました。

(前半27分) 相手ゴール前ラインアウトからラックを作り、ボックスに展開し再度10番飯田君の華麗なるステップでトライ! ゴールも決まり12対0とリードし、前半を終えました。保護者もノリに乗った応援で盛り上がっております。

(後半12分) 相手陣22m付近でのPKから、No.8上村君(1年生180cm,80kg)が恵まれた体格と走力を生かした突進で前進しゴール前ラック、その後サイドを突いた右プロップ牛島君がトライ! 17対0と引き離し、OBはホッと一安心タイムに入ります。

(後半18分) ところがどっこい、さすがライバル校熊高です。ここから意地を見せ一人一人の縦への前進が始まり、済々矚ディフェンスが崩され、最後は熊高主将No.8松永君のトライとゴールが決まり17対7と差が縮まり冷やっとなります。

(後半23分) その後一進一退のゲームでしたが、熊高のキックを済々矚15番庄田君が自陣10m付近でキャッチし、目が覚めるようなカウンターアタックで相手に触れさせずトライ! 22対7と差を広げほっとさせました。

(後半27分) しかしさすがライバル校熊高です。最後まで意地を見せた熊高の選手達が前に強引に突進し、済々矚ディフェンスを突き破り、熊高SH岸君のトライ。22対12となりましたが、その後ノーサイドとなり、記憶は定かではありませんが済々矚は5年ぶりとなる公式戦での勝利をつかんだということです。それを物語ってか、現役の中には涙する熱男くんもおり感動を誘いました。現役を見ておりますと大変ポテンシャルの高い選手が多くいます。今後練習を積み上げていくと、さらに良いチームになると思いました。

試合後は、新OB会長の益田さんから現役への優しい労いと激励の言葉がありました。次は準決勝九学戦、1月21日(土)12時半キックオフ、運動公園スポーツ広場で行われます。どうか多くのOBの応援をお願いします。

なお文章は、森永先輩から引き継いだ、伊藤博(S56年卒)でした。